

税 労 第 62-033 号
令和 3 年 12 月 21 日

日本税関労働組合
中央執行委員長 倉 本 和 邦 殿

日本税関労働組合青年委員会
青年委員長 呉 屋 勇 歩

第 62 期第 2 回青年委員会議事録について（送付）

このことについて、議事録を作成したので、別紙 1 のとおり送付します。

第 62 期第 2 回青年委員会議事録

1 開催日時 令和 3 年 12 月 17 日 (金) 午前 10 時から午後 5 時

2 開催場所 午前 : 中央書記局 午後 : 会議するなら

3 出席者

[青年委員長]

吳屋堯歩

[副青年委員長]

関口法立

[書記長]

島中翔

[執行委員]

松本琉寿、近藤隆也、西原夕夏、古川遼、渡辺航

[中執 (青年担当)]

村岡和弥 (中央書記次長)

[オブザーバー]

清水隆行 (横浜)

4 議題

- (1) 第 1 回考查管理室長交渉について (打ち合わせ・総括)
- (2) 各地区本部活動経過報告
- (3) JCU セミナーの検討
- (4) お祝いメッセージとタオル配布の検討
- (5) 普通科基礎科アンケートの共有
- (6) その他

5 議事内容

- (1) 第 1 回考查管理室長交渉について (打ち合わせ・総括)
 - ア 交渉打合せ
 - ・事前に交渉の流れ、各自が担当する発言事項について共有を行った。

イ 総括

- ・当局側の回答はこれまでどおりであり、目新しいものはなかった。
- ・交渉参加者に JCU バッジを渡すのを失念していた。次回の交渉では付けて交渉。

(2) 各地区本部活動経過報告

各地区本部からの「各地区本部情勢報告」の共有を行った。補足を含め、記載されている内容以外の発言は以下のとおり。

ア 函館

- ・1月予定の青年冬レクについては、集合形式で行う予定。参加費は旅費も含めて0円。青年層組合員は80名程度おり、そのうち30名程度の参加を想定しているが、現在募集中のため参加者の人数は判明していない。なお、加入懇意の観点からも非組合員にも声掛けを行っている。

イ 東京（欠席）

ウ 横浜

- ・青年作成の新聞の話が出たので、各地区本部の青年新聞の状況を共有した。

順位	地本	青年が作成している新聞
1	函館	YOUTH QUAKE
2	東京	ヤング☆ステーション
3	横浜	スタンドポイント
4	名古屋	-
5	大阪	-
6	神戸	うみなり
7	門司	-
8	長崎	青年部ニュース
9	沖縄	-

エ 名古屋

- ・名古屋税関長交渉のフリートークで、来年2月に令和2、3年の大卒高卒を本関に集めて集合研修が行われるとの話があった。
- ・3月予定としている青年主催ファミリーレクについては、未着手。

オ 大阪

- ・特になし

カ 神戸

- ・来年、暖かくなった時期にUSJのレクを検討している。とりあえず、来年1月に新聞を使って募集してみて、どのくらいの人数が集まるかを把握して、2月3月で具体的に検討していく。レクの対象者は組合員だが、新聞は非組合員を含めて全ての職員に配布しているので、それを見て加入も期待している。
- ・旗開きは開催予定だが、例年の立食ではなく、円卓の着座式で行う予定。

キ 門司

- ・12月に加入懇親活動として、青年層が受講する英会話研修の研修生14名に対し、食事会を2回（研修生7名+役員2名を2回）に分けて行った。14名中1名組合員、13名非組合員であったが、組合員を含めて行った。がつりと組合の話をするのではなく、最初と最後に簡単に組合の話をする程度にとどめている。加入届の懇親はまだしていないので現在のところ加入には至っていない。

ク 長崎

- ・11月に青年部が作成している新聞でクリスマスイベント（※）の周知を行った。本関を中心に募集した結果、6家族から依頼があった。
(※) 青年部役員がサンタのコスプレをして、応募のあった組合員の自宅を訪問し、子供にお菓子を配るというもの
- ・1月に青年レクを検討している。内容はボーリング。非組合員も対象とする予定だが、参加費用で差別化を行うことを検討している。

ケ 沖縄

- ・年末年始のコロナの様子を見ながらレクを検討している。内容はビーチバーベキューを検討している。

（3）JCUセミナーの検討

- ・JCUセミナーの「交流を図る」という趣旨を鑑み、全国から1か所に集まっての1泊2日で開催することとした。
- ・コロナ対策として、事前にPCR検査や抗原検査で陰性を確認してはどうかとの意見があった。
- ・旅行会社にプラン依頼する際の条件を青年委員会で検討した（別添参照）。
- ・青年委員会としては、以下の理由によりJCUセミナーを2回実施したいと考えるが、中央や中央執行委員会の確認を行うこととした。

（理由）

- ① 集合研修ができていない令和2、3年の大卒高卒との同期間交流を持たせたい。
- ② JCUセミナーは上記①以外の青年層組合員も対象となっており、例年の各地区本部の参加枠は5名前後なので①対象者は数人しか参加できず目的を達成できない（①を達成するために①以外の青年層組合員を対象外とすることはしない）。
- ③ 1回で済ますために枠を増やした場合、感染リスクも高まる
- ④ ①であれば、加入の懇親に繋がる（加入して参加する人もいるかもしれない）。

（対応案）

- ① 予算上の問題がなければ、例年枠の参加者40名+役員9名で2回実施。
- ② 1回目も2回目も全く同じ内容をすることで運営側の負担を軽減（全く同じ内容でも参加者は違うので支障はない）。

③ 運営側の役員が1回目と2回目の両方の参加が厳しい場合は、どちらかの参加でも可とし、それぞれ7割の役員で回せるような仕事の割振りを検討する（運営経験者によれば、JCUセミナー当日の役員負担はそこまでないので7割の役員でもいけるとのこと）。

（4）お祝いメッセージとタオル配布の検討

ア お祝いメッセージについて

- ・前期はコロナを理由に行っていない。今期の委員会メンバーで再検討した結果、以下の理由で今期も行わないこととした。

（理由）

- ① 例年、メッセージを書いてくれる人を探すのに苦労している
- ② 先輩からのメッセージは当局側のHPでも同じことをしており被っている
- ③ タオルと一緒に配っていたが、読まずに捨てられることが多く（先輩メッセージが同封されていたことを覚えていない人も多い）、①も鑑み、費用対効果が薄い

イ JCUタオルについて

- ・村岡書記次長より、中央で検討している手帳型のメモ帳について説明があった。
- ・青年委員会において代案意見はなく、手帳型のメモ帳をJCUタオルの代わりに新規採用職員に配布することについて賛成となった。
- ・メモ帳自体には、JCU等の文字の印字はせず、はこべえ等にとどめておき、配布時に入れておく紙袋にJCU等の文字を印字すれば、一定の組合のアピールはできており、新職も使いやすいのではという意見があった。

（5）普通科基礎科アンケートの共有

- ・前期実施した普通科基礎科アンケートについて、村岡書記次長が分析した結果を共有した。次回の第3回青年委員会で検討する税関研修所副所長会見議題で使用する。

（6）その他

- ・中等科アンケートの配布状況と回収率状況を確認した。中等科後期が終わる12月22日（水）に村岡書記次長からリマインドメールを送る予定。
- ・今後、青年委員会を集合形式で開催した場合の開催方法について検討した。事務負担や費用面から金曜午後開催の翌日午前までの計1日を基本とすることとした。

以上